

2014年9月期第2四半期決算説明会

2014年6月2日 兜町平和ビル
株式会社CSSホールディングス

- | | |
|-------------|-------|
| ・ 連結業績 | 1～ 4 |
| ・ 各セグメントの業績 | 5～14 |
| ・ 今後の取り組み | 15～22 |



証券コード2304

連結業績

【会社名】	株式会社CSSホールディングス
【本社所在地】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【設立】	1984年(昭和59年)12月
【資本金】	393百万円
【発行済株式総数】	52,856株
【決算期】	9月
【代表者】	代表取締役社長 林田 喜一郎
【連結従業員数】	4,773名（うち、パート・アルバイト 4,381名）（2014年3月31日現在）

連結業績（PL）

■ 前期との比較

（単位：百万円）

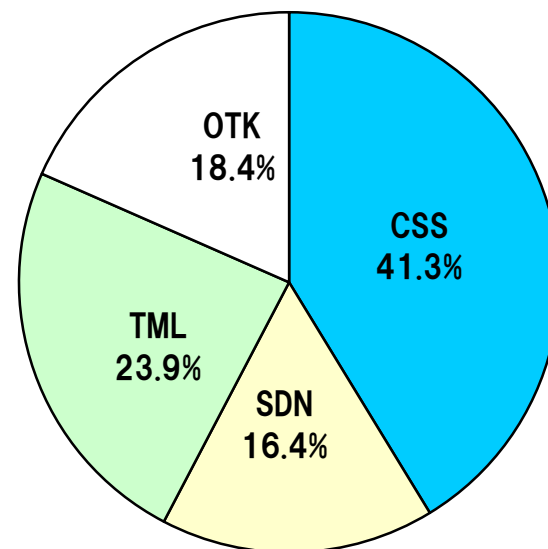
	13年9月期 第2四半期	14年9月期 第2四半期	差異
売上高	6,475	6,686	211
営業利益	187	228	41
経常利益	113	238	124
当期純利益	81	196	114
1株あたり当期純利益(円)	16.16	38.89	22

■ 計画との比較

（単位：百万円）

	14年9月期第2四半期		差異
	計画	実績	
売上高	6,651	6,686	35
営業利益	207	228	21
経常利益	175	238	63
当期純利益	115	196	81
1株あたり当期純利益(円)	22.80	38.89	16

事業別売上構成比



連結業績（BS、CF）

■ 連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期末 13年9月末日現在	当第2四半期 14年3月末日現在	差異
資産合計	5,712	6,089	377
流動資産	3,332	3,745	413
固定資産	2,380	2,344	△ 35
負債合計	3,946	4,147	200
流動負債	2,687	3,031	344
固定負債	1,259	1,115	△ 143
純資産合計	1,765	1,942	177
株主資本	1,711	1,882	171
評価・換算差額等	54	60	6
負債・純資産合計	5,712	6,089	377

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	13年9月期 第2四半期 累計期間	14年9月期 第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	220
投資活動によるキャッシュ・フロー	54	192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 288	△ 100
現金及び現金同等物の増減額	△ 47	312
現金及び現金同等物の期首残高	1,948	917
現金及び現金同等物の期末残高	1,900	1,229

資産合計
5,712

現金及び預金
1,300

流動資産
3,332

有形固定資産
1,513

無形固定資産
72

投資その他資産
794

固定資産
2,380

前期末

資産合計
6,089

現金及び預金
1,473

流動資産
3,745

有形固定資産
1,485

無形固定資産
86

投資その他資産
772

固定資産
2,344

当第2四半期

負債・純資産合計
5,712

流動負債
2,687
固定負債
1,259

負債
3,946

株主資本
1,711

純資産
1,765

前期末

負債・純資産合計
6,089

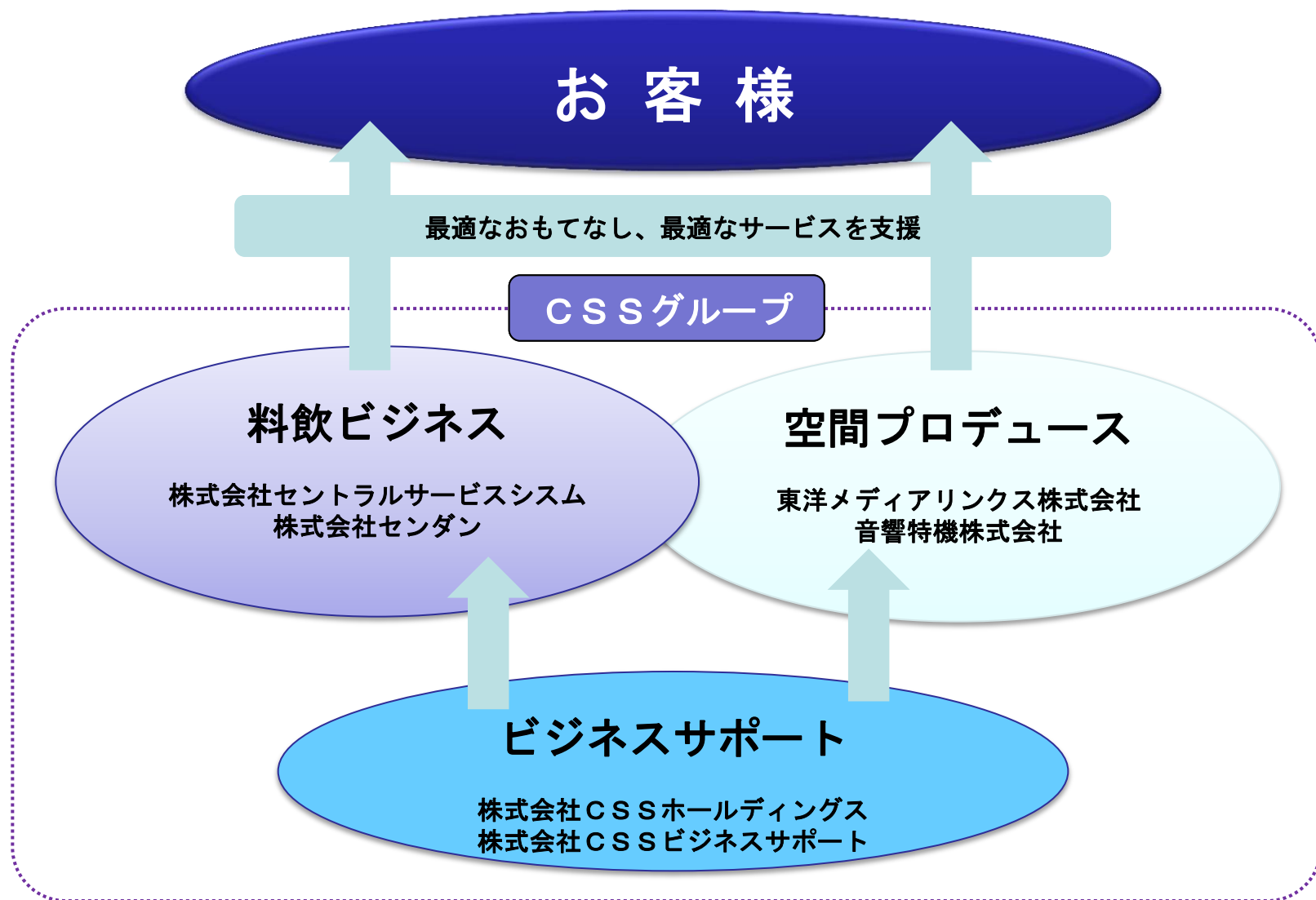
流動負債
3,031
固定負債
1,115

負債
4,147

株主資本
1,882

純資産
1,942

当第2四半期



スチュワード管理事業

株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

【事業内容】	食器洗浄を中心としたスチュワード管理業務
【主要顧客】	ホテル、レストラン、会館

会社概要

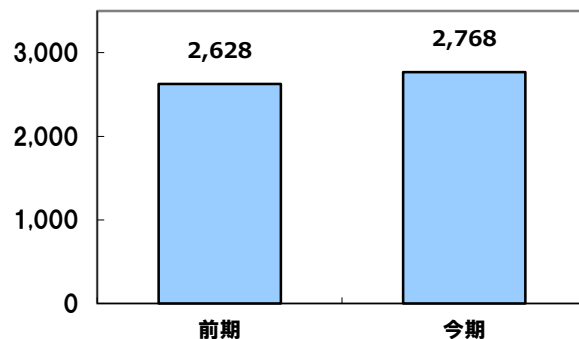
【設立】	2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 三瓶 秀男
【従業員数】	4,040名〔うち、パートナー（パート・アルバイト）3,876名〕
【事業所】	全国126事業所（2014年3月31日現在）

スチュワード管理事業（CSS）

■ 前期との比較

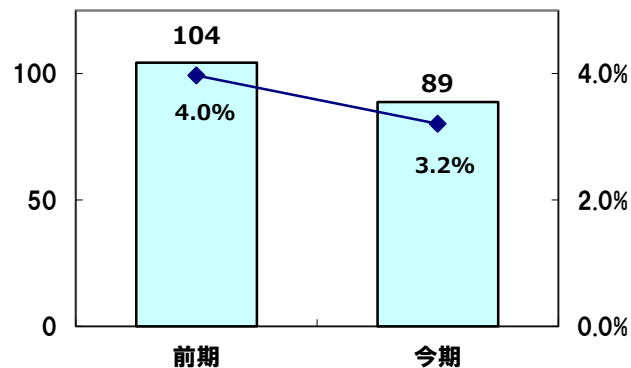
（百万円）

売上高



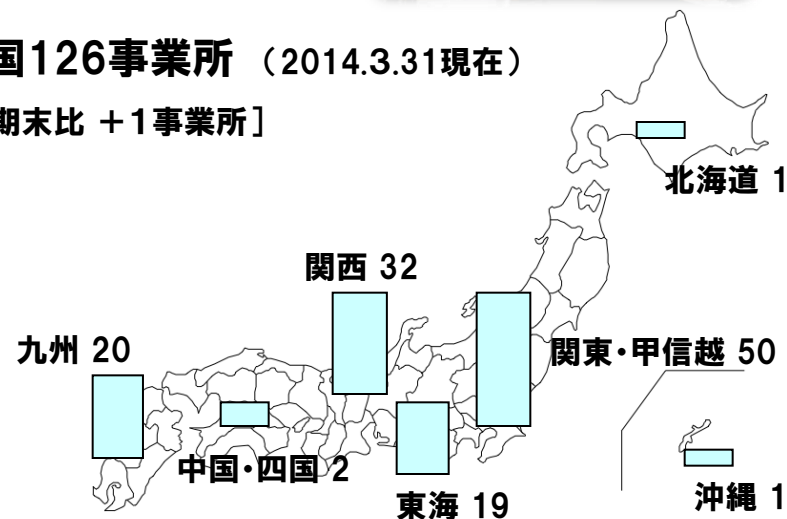
（百万円）

営業利益・営業利益率



全国126事業所（2014.3.31現在）

[前期末比 +1事業所]



総合給食事業

株式会社センダン（SDN）

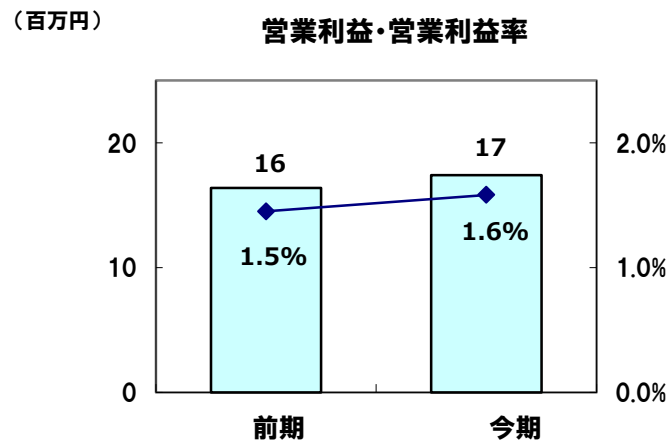
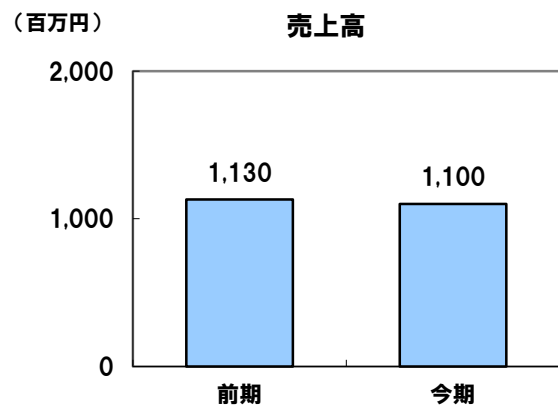
【事業内容】	従業員食堂、レストランの運営およびフードサービス全般
【主要顧客】	ホテル、一般企業、学校、病院、介護施設

会社概要

【設立】	1997年1月（02年12月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 磯邊 和彦
【従業員数】	596名〔うち、パートナー（パート・アルバイト）495名〕
【事業所】	全国75事業所（2014年3月31日現在）

総合給食事業 (SDN)

■ 前期との比較



全国75事業所 (2014.3.31現在)

[前期末比 △1事業所]



映像・音響機器等販売施工事業

東洋メディアリンクス株式会社（TML）

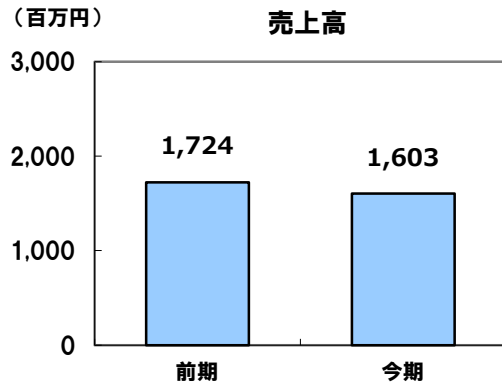
【事業内容】	BGMのパイオニア企業としての音楽関連業務 セキュリティシステム、映像・音響システムの設計施工業務
【主要顧客】	金融機関、商業施設、ホテル、公共施設

会社概要

【設立】	1962年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 森永 洋一郎
【従業員数】	75名

映像・音響機器等販売施工事業（TML）

■ 前期との比較



セキュリティカメラ設備



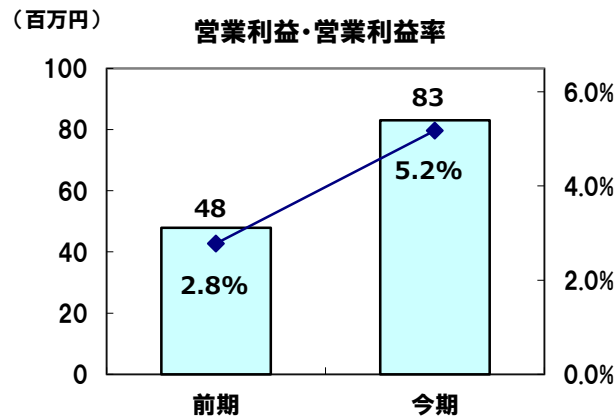
Scent Wave(香)



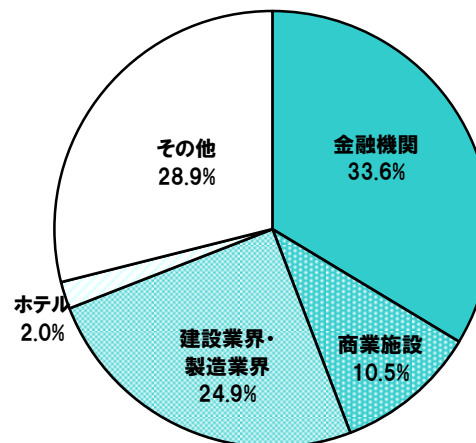
エムズスピーカー



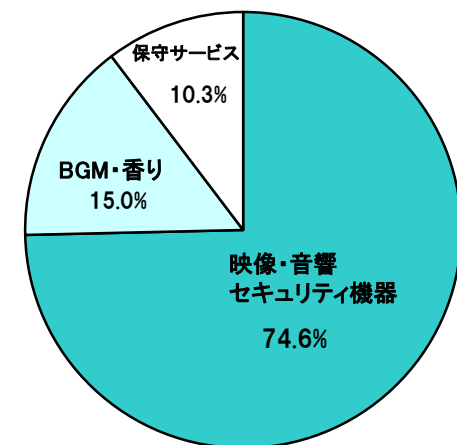
デジタルサイネージ



顧客別売上構成比



商品別売上構成比



音響・放送機器等販売事業

音響特機株式会社（OTK）

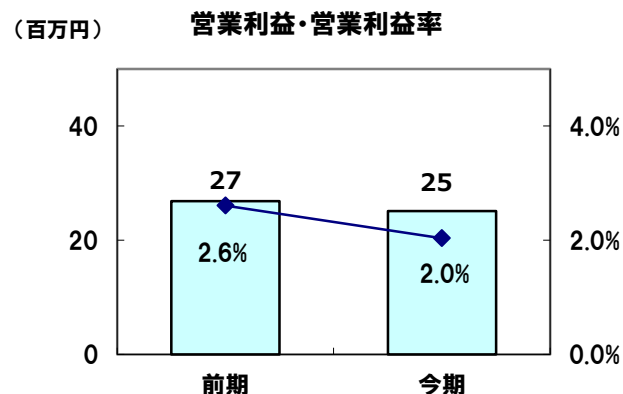
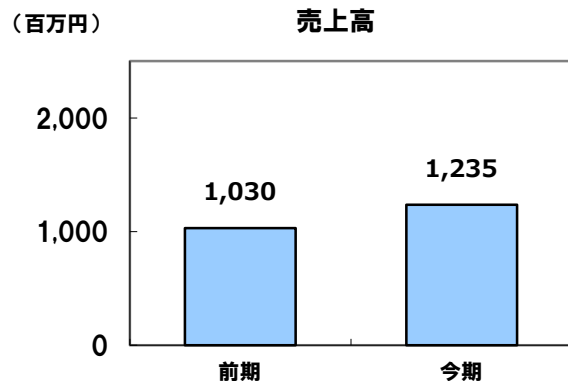
【事業内容】	大型スピーカーやアンプなど、プロフェッショナル向け 音響機器の輸入・販売
【主要顧客】	音響設備会社、劇場・ホール、ホテル、放送局

会社概要

【設立】	1979年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	100百万円
【代表者】	代表取締役社長 辻 勝太郎
【従業員数】	30名

音響・放送機器等販売事業（OTK）

■ 前期との比較



主な取り扱いブランド

<国内ブランド>

- | | | |
|-------|----------|---------|
| ■ ヤマハ | ■ ティアック | ■ ローランド |
| ■ カナレ | ■ パナソニック | ■ TOA |

<海外ブランド>

- | | | |
|------------------|----|------------------|
| ■ EAW (90.4月) | 米国 | スピーカー |
| ■ BIAMP (04.11月) | 米国 | オーディオ用シグナルプロセッサ |
| ■ QSC (08.3月) | 米国 | パワーアンプ、スピーカーシステム |
| ■ Cloud (08.8月) | 英国 | ゾーンミキサー |
| ■ MACKIE (09.2月) | 米国 | スピーカー・アンプ |

総務・人事・経理管理事業

株式会社CSSビジネスサポート（CBS）

【事業内容】 グループ会社からの総務・人事・経理業務の受託

会社概要

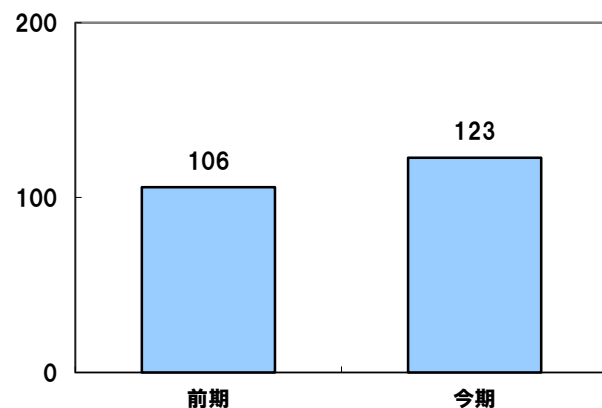
【設立】	2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】	10百万円
【代表者】	代表取締役社長 川勝 雄介
【従業員数】	28名

総務・人事・経理管理事業 (CBS)

■ 前期との比較

(百万円)

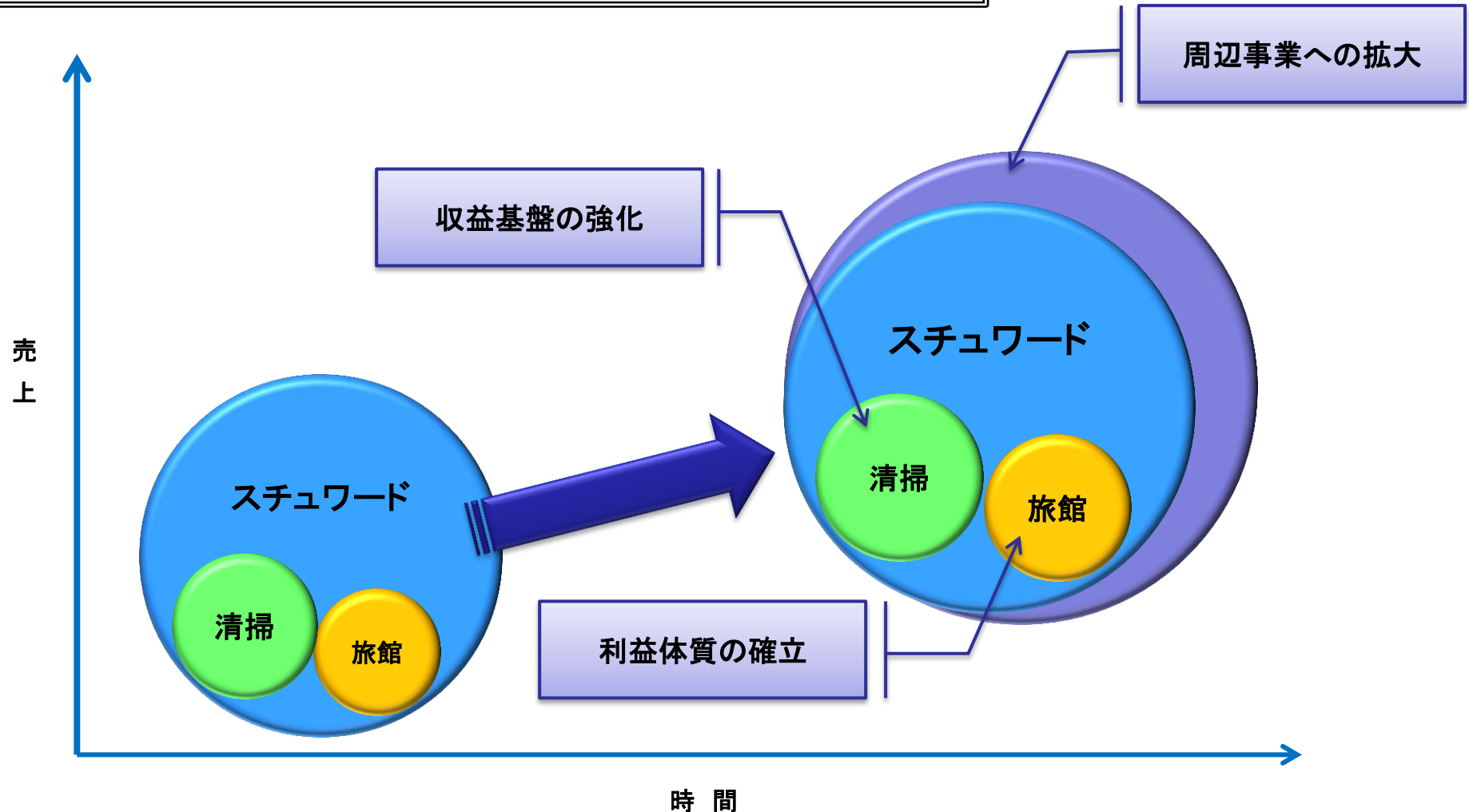
販売費及び一般管理費



今後の取り組み

今後の取り組み スチュワード管理事業（株式会社セントラルサービスシステム）

- 既存顧客との関係を維持・強化することでスチュワード周辺事業まで業務を拡大
- 清掃事業は既存事業所での業務内容の更なる効率化を図り、収益基盤の強化
- 旅館事業は、早期に利益体質を確立し、実績を積むことで今後の多角化へとつなげる



今後の取り組み 総合給食事業（株式会社センダン）

- ホテル従業員食堂で培った経験とノウハウを更に向上させ、提案力を強化しながら、一般企業の給食・レストラン運営まで含めた積極的な営業の展開
- 店長研修による店舗運営のスキルアップとメニュー改善プロジェクトによる標準レシピ化による効率的な食材調達
- イベント・フェアの充実による喫食率の向上



今後の取り組み 音響・映像機器等販売施工事業（東洋メディアリンクス株式会社）

部門別損益体制の継続



金融営業部門

- ・既存顧客との関係強化
- ・関西営業所の体制充実による関西市場への営業展開



法人営業部門

- ・ホテル顧客情報の共有化による新たな営業展開
- ・オリンピック関連物件への積極的アプローチ



技術部門

- ・IPネットワークシステムの設計・構築・サポートまで一貫したSI体制づくり
- ・保守サービスの拡大



音楽営業部門

- ・強みを活かした大手商業施設向けBGM&CM(販促)提案営業強化
- ・CD-BGMのリプレイス展開によるIMS顧客の拡大



「香り」部門

- ・香りとBGMを組合わせたブランディング提案できる体制づくりと更なる顧客拡大

今後の取り組み 音響・放送機器等販売事業（音響特機株式会社）

- 全国の設備・施工会社とのネットワークを背景とした全国規模での営業体制の強化
- 商品センターの統合・移転による費用の削減

福岡営業所

大阪営業所

東京本社

名古屋営業所

新ブランド獲得へ
向けての情報収集

輸入
ブランド
商品の売上
規模拡大

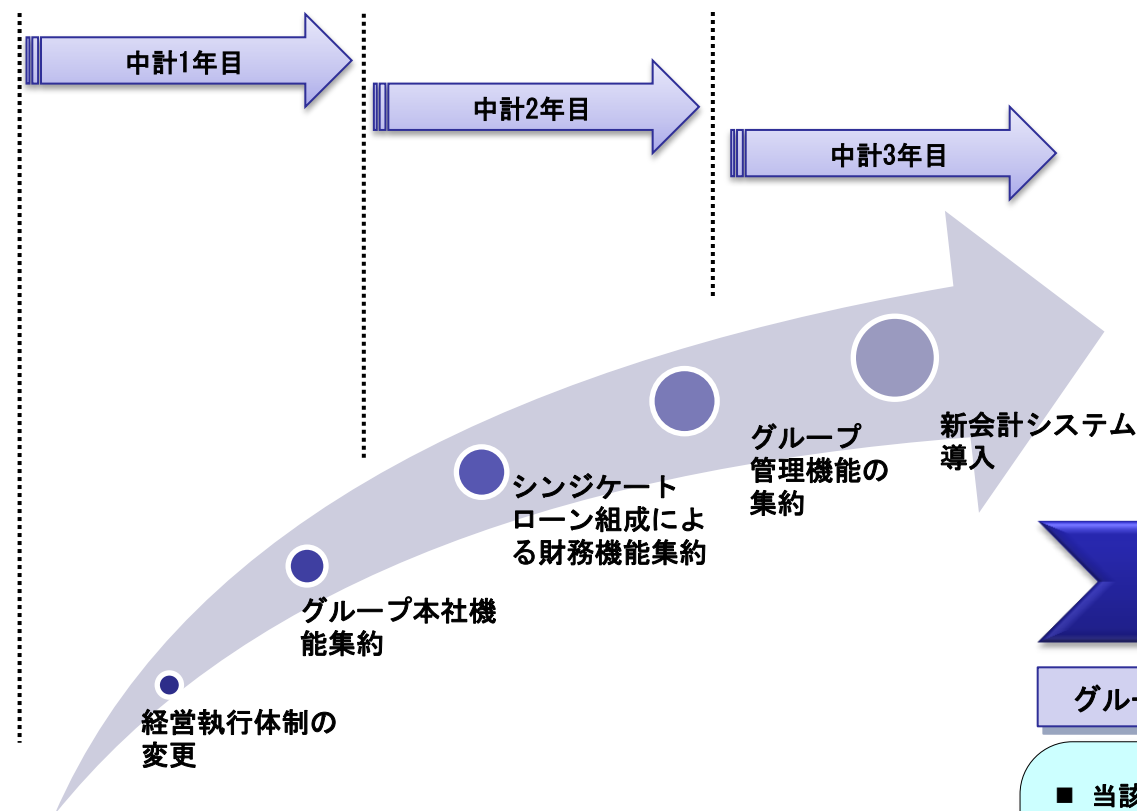
BEAW

QSC

BIAMP

MACKIE

今後の取り組み CSSホールディングス



グループ
経営の
基盤強化と
事業拡大の
実現

第2次中期経営計画

グループとしてめざすもの

- 当該計画の期間となる2015年からの3年間の経済見通しは、2020年の東京オリンピックを控えた中であって、緩やかながらも拡大基調にあるものと思われる。
- この環境下において当社グループは、現在推進中の中期経営計画に基づく、グループ経営における基盤整備を次期中期経営計画における「成長戦略の土台」とし、新たな成長を支える具体的な事業戦略をもってグループ企業価値の増大を目指すこととする。
- グループ各社は、それぞれの強みを活かし、弱みを克服しながら、事業機会を見極めて競合に勝ち抜き、グループ全体として中期的目標を達成することで当社を取り巻くステークホルダーの期待に応えていく。

第1次中期経営計画は、グループ拡大成長に向けた基盤整備の3年間と位置づけられる

本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

I Rに関するお問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

T E L 03-6661-7840

F A X 03-6661-7841

E-M A I L info@css-ltd.co.jp

連結ファクトシート

	09年9月期	10年9月期	11年9月期	12年9月期	13年9月期
1株当たり純資産額(円)	312.35	309.93	308.23	320.75	350.02
1株当たり当期純利益金額(円)	28.30	5.19	1.47	11.04	22.59
自己資本比率(%)	23.8%	24.6%	26.0%	23.4%	30.9%
自己資本利益率(%)	9.4%	1.7%	0.5%	3.4%	6.7%
総資産経常利益率(%)	2.5%	2.3%	1.3%	1.3%	1.9%
総売上経常利益率(%)	1.2%	1.2%	0.7%	0.7%	0.9%

(注) 当社は、平成25年10月1日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っております。当該株式分割については、第25期の期首に株分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。